



南陽家族 第65号
発行日:令和2年8月20日
発行:東京都杉並区高井戸西 1-12-1
社会福祉法人 浴風会
介護老人福祉施設グループ
南陽園:Tel.03-3334-2159 / Fax.03-3334-1745
第二南陽園:Tel.03-3334-2197 / Fax.03-3334-1748
第三南陽園:Tel.03-3334-2193 / Fax.03-3334-2198
編集:浴風会介護施設広報委員会
発行責任者:南陽園園長 植木 雄治

広報

南陽家族

2020年
夏号



慈雨晴天

人々は様々な疫病と戦ってきましたが、それが歴史の記憶としてはあまり残っていないような気がします。

第一次世界大戦時に世界中で流行したインフルエンザは大戦の戦死者を上まわる少なくとも2500万人以上の死者数であったと、アルフレッド・クロスビー博士はその著書「史上最悪のインフルエンザ」に記しています。日本では日露戦争の戦死者よりも「脚気」による戦病死者数の方が上まわっています。それは記録文学の吉村昭の作品「白い航跡」がつまびらかにしています。

当時と現在では医学も格段に進歩しており、条件は大きく異なっています。それでも新型コロナウイルスについての知見がいまひとつ確定しないこともあり、正しく恐れ対処するという構えがとりつらいのかも知れません。ウィズコロナの時代といわれる中で、世間ではソーシャルディスタンスが求められるれています。この言葉に看介護の職員は、それではお世話も出来ないかと複雑な気持ちにさせられます。特別養護老人ホームはここで生活される高齢者の暮らしの場です。適切な感染対策を取りながらも、日々の暮らしの楽しみも同時に提供したいと考えています。ウィズコロナの時代の「新しい生活様式」と言われる中でも生活の質は追い求めたいと思います。

作って食べて楽しむ ～クッキング★カフェ～

第二南陽園管理栄養士 木村志穂

食事を楽しむ事の中には、好きなものを食べる。自分で作って好みの味で食べる。ということが含まれているように思います。施設にいと、献立が決まっているため、食事が受け身になってしまっているように感じていました。そこで、皆さんの希望を簡単にかなえる場所として「クッキング★カフェ」の開催を始めました。ご利用の方ができるところを考えてグループにして開催。1時間では作って食べることは難しかったため、午前中の準備をご利用の方と行ってみたり、分担作業ではなくそれぞれに始めから最後まで作ってもらうメニューに変更したり、はじめの1年間は先月の反省を元にやり方を試行錯誤しました。「お料理なんて忘れたわ。」という方が、出来上がったお菓子に「なんておいしいのかしら。」と舌鼓。食事が配膳されてもすぐに食事が進まなかった方が、このカフェでは自分から「おいしい。」と手を伸ばしてもらえたり、「おせんべい」が食べたいという方に米粉から焼いたおせんべいに「おせんべいはこういう風に作るのね。」と楽しんでいただいたり。作って食べることに興味と楽しみを持ってもらえたように思います。食べているときの笑顔が、楽しんで食べることの大切さを再認識させてくれます。「さあ、来月は何にしようかな。とりあえず、皆さんの希望を伺いに行こう!」



今までこんなものを作りました!



令和2年
4月

桜えびせんべい・苺ティラミス



令和2年
5月

きなこプリン・
メロンカルピス蒸しパン



令和2年
6月

チョコムース・チーズケーキ



令和2年
7月

トマトゼリー・キャラメル飜ラスク



南陽の四季

新茶の会

美味しい新茶をいただきました。



南陽園

リハビリクッキング

混ぜご飯をおにぎりにして美味しくいただきました。



七夕

短冊に願いをこめました。

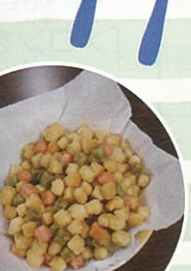


フルーツバイキング・お楽しみ会

豪華なフルーツ盛に皆さん喜ばれていました。手作りのおやつを美味しくいただきました。



今回の南陽の四季では、初夏から夏にかけての行事やクラブ活動などを紹介していきたいと思えます。



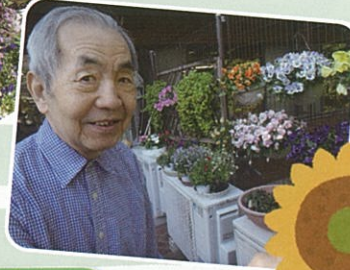
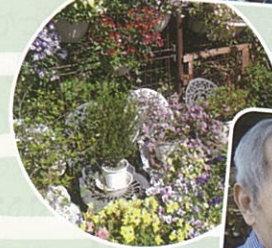
ベランダで日光浴

たくさんの花を見ながら、気分転換しています。



クッキング★カフェ

みなさん毎回とても丁寧に作られています。



第二 南陽園

七夕

昼食のそうめんの上にはオクラの星、デザートにも星の形をした寒天が入っていました。



フルーツバイキング

色とりどりの果物を楽しみました。



新茶の会

お茶娘が淹れた新茶と和菓子を楽しまました。



七夕

短冊に願いを込めて、一緒に飾り付けしました。



フルーツバイキング

「綺麗ね!!見事!!」「どれから食べようかしら」等、皆さん楽しそうにフルーツを選んで召し上がられていました。

第三
南陽園



新茶の会

新茶娘が美味しいお茶を入れました。季節のお花の和菓子と一緒にと一緒頂きました。

園芸クラブ

お天気の良い日には、皆さんと一緒にお庭の手入れをしています。

お知らせ

ボランティア募集!

傾聴や縫い物、クラブ活動、レクリエーションなどをしてくださるボランティアの方を探しています。

* お問い合わせは:各施設のボランティア担当まで

職員募集!

あなたのお力をお待ちしております

現在、契約職員を随時募集しております。より良い施設づくりのために皆様のお力をお貸しください!お待ちしております。

◎介護福祉士の方:時給 1,400円

◎介護職員基礎研修・実務者研修の方:
時給 1,300円

◎ヘルパー 2級・初任者研修の方:時給 1,200円

◎資格のない方:時給 1,100円

* お問い合わせは:各施設の採用担当まで

ご意見をお寄せください!

内容に関するご意見ご感想をお寄せください。今後、日常生活の様子やご利用者のお声などを引き続き紹介していきます。皆様のお声をお待ちしています。

* 編集担当:佐野(南陽園)、佐藤(第二南陽園)、北濱(第三南陽園)

各施設の連絡先

南陽園

TEL:03-3334-2159 / FAX:03-3334-1745

第二南陽園

TEL:03-3334-2197 / FAX:03-3334-1748

第三南陽園

TEL:03-3334-2193 / FAX:03-3334-2198

ホームページ:<http://www.yokufuukai.or.jp>

フルーツバイキング

6月はフルーツバイキングがありました。マンゴーやメロン、ブルーベリーなど季節のフルーツをとり入れ、調理職員が豪華に彩りよく盛り付けをしました。盛り付けられたフルーツをみて、目を輝かせたご利用者のみなさんは「わあ、すごい!」「メロンを食べたい!」「マンゴーをたくさん食べたい!」と、賑わいをみせていました。フルーツが召し上がれない方には、フルーツジュースやフルーツゼリー、プリンを提供して楽しんでいただきました。コロナウイルスの影響で行事が次々と中止になっていきますが、今回は食事を通してご利用者のみなさんに楽しいひとときを感じていただけました。



フルーツ盛り合わせ



フルーツゼリー



プリン、フルーツジュース

編集後記

- 長い梅雨が終わり、ようやく夏らしい日々となりました。今年は新型コロナウイルスの影響で行事を縮小・中止しているため、できる限り皆さんと楽しい時間を過ごせるよう取り組んでいきたいと思えます。(佐野)
- 東京では7月は31日中30日雨が降っていたそうです。確かに洗濯物をどうしようと、悩んでいることが多かったです。この号が発行される頃には晴天続きを願います。(佐藤)
- 長い長い雨が続き、お日様が恋しいと思っていたら梅雨が明けましたね。次は長い長い暑さが続くのでしょうか。。。カブトムシのオスとメスを飼い始め、カブトムシが飛ぶ事を始めて知りました。(北濱)